

視察・研修報告書

視察研修先	三鷹市役所
日 時	令和6年8月7日 14時00分～16時00分
場 所	東京都三鷹市野崎1-1-1
テーマ	三鷹市A I デマンド交通実証運行検証
対応者 (講師)	・ 齊藤大輔 都市再生部調整担当部長 ・ 渡辺佑馬 都市再生部都市交通係主任
概 要	<p>8月7日14時から三鷹市役所にて三鷹市A I デマンド交通実証運行について齊藤部長及び渡辺主任より説明を受けた。</p> <p>A I デマンド交通とは、予約を入れて指定した時間に指定した乗降ポイント間を乗り合いで運行する交通サービスのことである。</p> <p>1 デマンド交通の導入の経緯（西部エリア及び井の頭エリア）</p> <p>駅から離れている、駅近だが道路が狭い、路線バスやコミュニティバスが走っていない等交通の便が悪い地域の移動手段を確保するために導入。</p> <p>2 デマンド交通の内容</p> <p>①乗降ポイント</p> <p>コミュニティバスや民間のバスが走っていない地域で、西部エリア（バス停87カ所）と井の頭エリア（バス停30カ所）の約100メートル間隔に乗降場所を設置している。</p> <p>②運行時間</p> <ul style="list-style-type: none">・ 西部エリア : 午前8時から午後6時まで・ 井の頭エリア : 午前9時から午後5時まで <p>③運行エリア</p> <p>市内に24社あるタクシー会社の中で、対象エリアのタクシー会社が運行している。</p> <p>④料金</p> <p>エリア内は100円で運行（他自治体では1回あたり300円～400円程度が多い）</p> <p>⑤利用方法</p> <p>アプリ及び電話で予約可能。（アンケートの調査結果によると、スマホアプリでの予約等サービスについての満足度が高いとのこと。）</p> <p>⑥利用者定員（1台あたり）</p> <p>6人まで</p>

⑦運行状況

小型ワンボックスカー3台（西部エリア2台、井の頭エリア1台）で運行。

⑧運営状況（運営経費を含む）

タクシー会社3社で運営、予約センターは1社で業務を行っている。

小型ワンボックスカーは1台当たり年間1400万円、予約センターの運営は年間1000万費用がかかっている。

※A I デマンド交通に係る支出は、7路線あるコミュニティバスの本数を減らすことで費用を確保している。

⑨利用者（乗降客数）

A I デマンド交通は、幅広い世代で利用されていて、1日あたりの利用者数は、令和4年と令和6年を比較すると、1台あたり平均20人から50人となっており、利用者は増加傾向である。（他自治体では、1日あたり平均2～3人の利用者しかいないところが多い。）

3 事業運営で苦労した点

デマンド交通開始当初は、事業の認知度が低かったために、多くの人に事業のことを知ってもらえるよう取り組んだ。具体的な取組として、担当者が積極的に地域に向向いて、デマンド交通についての説明会やスマホのアプリ講座を何度も行い、認知度を向上させていった。

4 問題点・課題

デマンド交通利用時において既存の路線バスとの乗り継ぎが課題となっている。

所 感

三鷹市は16 km²のコンパクトシティであり、人口19万人と本市と条件が違うために単純に比較できないものの、本市でも、コミュニティバスだけでなく、デマンド交通についても、昼に利用者数が少ないコミュニティバスの本数を減らすなどして運営費用を確保することができれば、取り入れることが可能ではないかと考える。

時代の変遷とともに、行政サービスも変化し続け、市民にとってよりよいサービスを常に提供し続ける必要があると考える。

作成者 神田 徳良